

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事前評価)

課題名「木造建築物由来の再生軸材料の製造技術と性能評価技術の開発」

1. 主な所見

- ・ 所見 : 本課題は、民間では取り組めない課題であり、特に「分別解体容易性を付加した・・・」は、木造建築物の設計・施工に寄与し、循環型社会の構築にも寄与することが期待出来る。目標とする成果に、木造建築のライフサイクルを通じて「循環型社会の構築に寄与する」というような意味合いの項を追加する必要があると考える。
- ・ 所見 : 既存プロジェクトの成果を受けているので展開しやすいと思われるが、関連業界との協力を得るが重要と思われる。
- ・ 所見 : 現段階ではやや散漫の印象を受けるが、対象エリアが定まればその内容の展開は比較的容易と思われる。
- ・ 所見 : 解体材から面材料を製造することについては、開発も行われているが、住宅材料の大宗を占める軸材料を製造することが必須であるという視点は、十分な説得力がある。
- ・ 所見 : リサイクル法をイニシエートとする本開発課題は、スターター的な研究となれば十分であり、具体的な材料の種類も一種類でも十分であるが、研究成果としては、次のステージでの研究プロジェクト、あるいは民間を主体とする事業開発に結びつくものが必要である。
- ・ 所見 : 再生軸材を性能評価する場合には部材ごとに要求される性能が異なるので、この軸材料の範囲をもう少し絞って明確にしておくとういと思われる。
- ・ 所見 : 木造建築物から発生する木質系廃棄物の量や質、形態などは様々であり、これを抑制する技術の効果を公正に評価する方法の策定は困難なことであるが、本研究では、再生軸材料の製造と、軸材料の性能を評価する技術の開発に絞って、木造建築物の解体から木質系廃棄物の発生、再生化、再生軸材の利用設計に至るライフサイクルにおける全抑制効果に関連する要因を検討し、抑制効果の総合的評価方法を検討することとしており、目標の実現の可能性が十分あり、研究を進める意味があると判断する。

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 に対する回答: ご指摘頂いた事項は担当者も認識しており、期待に添えるような成果を上げたいと考えております。確かに最終目標としては意識しているが、「循環型社会の構築」には、建設時、補修改修時等の検討も必要で、解体時の検討だけでは、寄与したかどうか言い切れないと判断し、敢えて「循環型社会の構築」と記載しておりません。
- ・ 所見 に対する回答: 本課題を遂行する上で関連業界の協力は必要不可欠であると考えており、既に下打ち合わせも済み、協力する方向で進んでおります。
- ・ 所見 に対する回答: 研究の対象は公募型の共同研究を締結して実施することを予定しており、共同研究手続きが進めば、研究内容は展開していくものと考えています。やや散漫であるとの印象を与えたのは、説明不足であった可能性があり、今後の評価の際にはこの点に留意します。
- ・ 所見 に対する回答: ご指摘の通り本課題の意義・特徴と認識しています。
- ・ 所見 に対する回答: 次の研究プロジェクト、民間による事業開発に結びつくような研究成果を上げることを主眼としております。
- ・ 所見 に対する回答: 構造耐力上主要な部分に使用する再生軸材料に要求される性能項目は法37条に基づくH12 建告1446号等に整理されており、これに絞って研究を進める予定です。
- ・ 所見 に対する回答: ご指摘いただいたとおりと考えており、これを逸脱しないように研究を進めていきたいと考えております。